

拠点名称：美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点

代表機関	東北大学	プロジェクトリーダー	松八重 一代 東北大学 大学院環境科学研究科 教授
幹事自治体	三重県志摩市 宮城県東松島市	幹事機関	東京大学、東京都市大学 リアインホールディングス株式会社、有限会社伊勢志摩冷凍、貴凛庁株式会社、 辻調理師専門学校、株式会社日本旅行、三重県立宇治山田商業高等学校
参画機関	三重大学、鳥羽商船高等専門学校、宮城大学、新潟食料農業大学、 よこやま株式会社、株式会社NA、三重県水産研究所、株式会社志摩スペイン村、伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社、志摩自然学校、 IOI国際海洋研究所日本支部、アイザワ水産、株式会社大友水産、石川食品株式会社、クレア法律事務所、宮城県仙台市、 三重県立水産高等学校、宮城県石巻西高等学校、宮城県水産高等学校		

プロジェクトの概要

一次産業は激化する気候変動の影響を大きく受けるが、とりわけ海洋生態系の変化は著しい。これまで培われてきた地域の食文化も気候変動への適応が求められる一方で、食は最も保守性の強い文化の一つでもあるため消費者・生産者双方の価値観の転換が重要である。美食地政学という新しい概念を提唱し、気候変動に適応した食のサプライチェーンを実現し、世代を超えた人のつながりを育み、自然に寄り添い豊かに暮らせる地域共創社会の実現をビジョンに掲げ、適正な自然資本の管理の下、地域資源を最大限に活かした食と職を豊かにする社会変革に臨む。これらの実現に向けて、T1.自然資本を適切に保管理・活用するための知的基盤の構築、T2.気候変動に適応する食を実現するための新たなサプライチェーンの創出、T3.自然と共生した豊かな地域経済実現のためのマーケットエコシステムの醸成、T4.地域グリーンジョブマーケット醸成のための教育コミュニティ形成の4項目をターゲットを定める。ターゲット達成のために、①農林水産資源の適切な管理と環境保全、②栄養塩類の適切な管理・ライフサイクル環境評価、③地理的環境認証・ブランディング、④美食地政学に基づくビジネス・サプライチェーン、⑤消費者・生産者の行動変容、⑥キャリア教育・グリーンジョブコンテンツ作りの6つの研究開発課題を軸に、多様な知を結集して地域産業の活性化を図るとともに、地域の自然資本を活かす新たなグリーンジョブを創出し、それを実践する担い手育成を、産官学民が一体となり取り組む。また、地理的環境認証・ブランディングの仕組みを介して都市部のマーケットと接続することで、生産者・消費者双方の価値観の転換を促し、気候変動に適応したサプライチェーンを実現する。

気候変動に適応した食のサプライチェーンを実現し、世代を超えた人の繋がりを育み、自然に寄り添い豊かに暮らせる地域共創社会の実現

